

# 研究概要

学校教育目標	人間尊重の精神を重んじ、豊かな創造力とたくましい実践力を身につけた心身ともに健康な子供を育成する		
目指す子供像	やさしく	かしこく	すなおに
	人を大切にし、助け合い高め合う子供	進んで取り組み、豊かに考え工夫する子供	行為を振り返り、自分への気付きを深める子供

## 小学校研究主題 **共に創る学び**

**共創力**  
(他者とかわる力)  
の育成を目指して



附属4校園一貫教育研究主題

共生社会を生きるために必要な資質・能力を育てるカリキュラムマネジメントに向けて

附属4校園で設定した一貫教育研究主題「共生社会を生きるために必要な資質・能力を育てるカリキュラムマネジメントに向けて」を受け、附属小学校では、共生社会を生きるために必要な資質・能力として、他者とかわる力に着目した。この力を、他者とのかわりを重視した学びを通して育成することにした。

そこで、他者とのかわりを重視した学びである「共に創る学び」を小学校研究主題にし、その学びを通して育成する他者とのかわる力を「共創力」と設定し、組織的かつ計画的に研究に取り組んできた。本年次は研究3年次にあたる。研究1年次は「共に創る学び」を「広がり」と「深まり」の二つの姿から迫り、目指す学びの姿を明らかにしていった。研究2年次は「共に創る学び」の「自覚」に焦点をあて、学びの過程の自覚を通して共創力の育成を図っていった。研究3年次にあたる本年次は、共に創る学びのさらなる充実と共創力の効果的な育成を目指して、横断的指導方法とRV-PDC-Aサイクルという二つの改善の視点から研究を進めてきた。

横断的指導方法は、各教科等で汎用的に活用できる指導方法である。全教科の教員で指導方法の意図を共有し、目指す学びに向かって組織的に指導を続けることで、他者とのかわりが充実してきたとい

える。つまり、横断的指導方法は、教科横断的に「共に創る学び」を充実させることに寄与することが分かってきた。

RV-PDC-Aサイクルは、学びの改善サイクルのことである。「実態の把握(Research)→指標の設定(Vision)→かわり方への見通し(Plan)→かわりの実施(Do)→学びの振り返り(Check)→学びの修正(Action)」のサイクルを教師と子供で柔軟に運用していくことで、子供自身が他者とのかわりを意識しながら学ぶようになってきたといえる。つまり、RV-PDC-Aサイクルは、子供主体で学びを改善していくことに寄与することが分かってきた。

このようにして、本年次は横断的指導方法とRV-PDC-Aサイクルという二つの改善の視点から「共創力」の育成を目指した「共に創る学び」に迫ってきた。

こうした営みは、本校学校教育目標に照らした本校の目指す子供像「やさしく」「かしこく」「すなおに」における「助け合い高め合う」「豊かに考え工夫する」「行為を振り返る」といった姿につながるものであり、学校全体のカリキュラムマネジメントを研究面から支えている。